

**第10回 電力取引監視等委員会**  
**事務局提出資料**  
**～小売全面自由化に向けたシステム対応の状況について～**

---

**平成27年10月23日（金）**

## 1. システムの目的

小売全面自由化に伴い、需要者の電気購入先（小売電気事業者）の切替え（スイッチング）件数が、高圧以上の需要のみが自由化されていた従来に比べ、飛躍的に増加することが想定される。そのため、スイッチングの手続きや、使用電力量の提供、託送料金・インバランス料金の算定をシステムを用いて迅速に処理できるようにすることが必要。

## 2. システムの概要と基本的機能

広域機関と一般送配電事業者でそれぞれシステムを開発し、連携して、小売電気事業者からの照会、スイッチング、その後の料金算定等を実施予定。

### (1) スイッチング支援対応関連機能

- ① **地点設備情報・使用量情報の提供**（2016年3月開始予定。1～2月の事前照会については各社ともにメール等で対応予定）  
需要者の設備情報（供給地点特定番号※等）や最大過去13ヶ月の使用電力量等の情報の提供を、小売電気事業者に対して行うシステム。※各一般送配電事業者により提供される、設備情報・使用量情報の閲覧・取得に当たり、対象供給地点を一意に特定する識別番号
- ② **託送異動申込みの受付**（2016年3月開始予定）  
現小売電気事業者からの供給に関する託送の廃止と、切替え後の新小売電気事業者からの供給に関する託送の開始などの手続を処理するシステム。

### (2) 託送業務関連機能

- ① **使用電力量の提供**（2016年4月から開始予定）  
一般送配電事業者から小売電気事業者に対して使用電力量の実績値の提供（30分値・月間値）を行うシステム。
- ② **託送料金計算・インバランス料金計算**（2016年4月の料金計算から開始予定）  
一般送配電事業者が発電事業者及び小売電気事業者との間で、託送料金の算定やインバランス料金の算定を行うシステム。

## 3. 進捗状況及び今後のスケジュール

- ・2015年11月～2016年2月 広域機関と小売電気事業者及び一般送配電事業者との連携テスト
- ・2016年1月 スイッチング事前受付開始
- ・2016年3月 スイッチング支援対応システム稼働開始（一般送配電事業者各社／広域機関）
- ・2016年4月 新託送契約開始

# 一般電気事業者各社／広域機関におけるシステム対応の状況【9月末時点】

2

小売自由化に向けたシステム対応については、各社及び電力広域的運営推進機関によると、新たな仕様追加や変更が生じないことを前提に、来春の運用開始に向けたシステム開発を鋭意実施中であり、現時点においては、スケジュールどおりに進んでいる状況とのこと。

電力会社名	現時点における進捗状況について（一般電気事業者各社／広域機関ヒアリングによる）
北海道電力	現在、スイッチング支援対応システムは検証段階、託送業務システムはプログラミング・環境構築中。予定どおり進捗。
東北電力	スイッチング支援対応システムは、10月から予定どおり現地搬入システムテストを行う予定。託送業務システムも予定どおり進捗。
東京電力	地点設備情報・使用量情報提供の結合テストが完了し、異動申込受付、30分値使用電力量提供、託送料金計算の結合テスト中。現時点においては予定どおり進捗。年末に一連の機能が来春より利用可能か否か見通しを示す予定。
中部電力	現在、スイッチングシステム、託送業務支援システムは結合・総合テスト中、料金計算はプログラミング中。予定どおり進捗。
北陸電力	現在、スイッチングシステム、託送業務支援システム（使用電力量の提供）はシステム結合テスト中、料金計算はプログラミング中。予定どおり進捗。
関西電力	現在、各機能についてテスト中。同時同量監視、近接評価割引については設計・プログラミング中。現状は予定どおり進捗。
中国電力	現在、各機能のプログラミングおよび結合テスト中。現状は予定どおり進捗。
四国電力	現在、各機能のプログラミング・テスト中。現在のところ予定どおり進捗。
九州電力	9月中にシステム結合・連携試験を終え、10月から総合試験を開始。予定どおり進捗。
沖縄電力	現在、スイッチング支援対応システム、託送業務システムともに「詳細設計・プログラミング工程」を実施中。予定どおり進捗。
広域機関	9月～10月にシステム総合テスト、認証機能連携テストを実施中。11月～2月に2段階で小売電気事業者及び一般送配電事業者との連携テストを予定。2016年3月上旬に新システム稼働開始。